愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	高柳 伸哉	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習IVでは、専門演習IIIを踏まえ、各自の設定した研究テーマを遂行し、発表資料・論文として作成することを目的とする。また、研究成果のまとめ方に関する講義や各自の進展状況の報告、個別の研究指導など、時期・課題に応じた実施形式を設定する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	本授業は対面授業とオンライン授業（リアルタイム型、オンデマンド型）を必要に応じて使い分ける。 研究の構成・遂行に必要な共通知識などについて提供しながら、各自の進展状況の確認と、簡易な発表会やグループ・ディスカッションを行う。個々のテーマや研究方法に関する指導においては、研究室での個別指導を必要に応じて用いる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション　専門演習IVの概要と目標設定	専門演習IVの内容と目的について説明し、目標を設定する。	□
第2回	研究計画と実施スケジュールの作成	研究計画の具体化と実施スケジュール作成を行う。	□
第3回	研究計画と実施スケジュールの報告、共有	研究計画・実施スケジュールを報告・共有し、研究遂行の見通しを作る。	□
第4回	論文の構成と研究の遂行（1）データ収集	論文の構成の仕方とデータ収集の具体的方法について検討する。	□
第5回	論文の構成と研究の遂行（2）調査の実施	調査について具体的に検討し、実施する。	□
第6回	個別の研究指導	個別の研究指導により、進捗確認と今後の課題遂行を検討する。	□
第7回	演習内中間発表会：研究の進捗状況の報告、共有	中間発表会を開催し、論文作成や研究遂行状況の進捗について報告、共有しあう。	□
第8回	研究結果のまとめ方（1）先行研究知見、量的データ、質的データ	得られた研究結果について、それぞれのまとめ方を学ぶ。	□
第9回	研究結果のまとめ方（2）論理構成、分析手法	得られた研究結果について、論理の構成の仕方やそれぞれの分析手法を学ぶ。	□
第10回	結果のまとめ方（3）論文における結果の記載	各自の論文作成における結果の記載方法を学ぶ。	□
第11回	研究結果のまとめ方（4）考察の作成	得られたデータと分析結果を基に、考察を作成する。	□
第12回	論文とプレゼン資料の作成	これまでの材料を総合し、論文とプレゼン資料の作成に取り組む。	□
第13回	個別の研究指導	個別の研究指導により、進捗確認と今後の課題遂行を検討する。	□
第14回	後期：演習内発表会	演習内で発表会を行い、ゼミナール大会に向けた準備を行う。	□
第15回	専門演習ゼミナール大会（リアルタイム型オンライン）	他の演習と合同開催となるゼミナール大会に参加し、発表・聴講する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に、自身の研究遂行や出された課題について取り組む。（2時間）　事後は、論文作成や各自の課題に取り組む。（2時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題の検討・作成途中において、中間評価や追加・修正の指示を行う。提出された課題については、改善点や意見提示などのフィードバック

を行い、研究遂行の促進を目指す。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	心理や健康、社会生活をテーマとして設定し、問題・目的を踏まえた研究計画を設定することができる。研究成果を論文として作成し、プレゼン資料を用いて分かりやすく伝えることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	0%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		